

ご 注 意

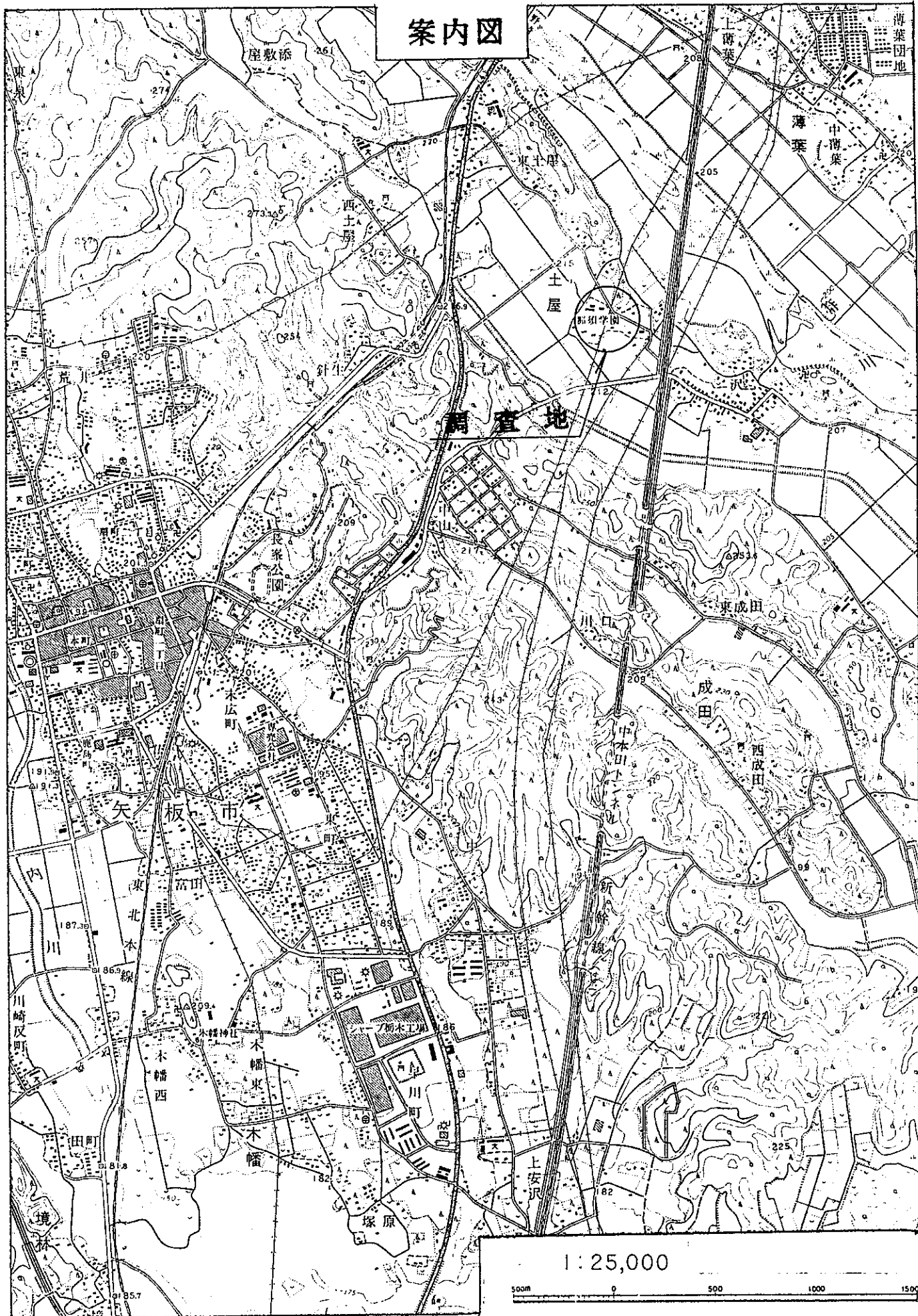
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

案内図



第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式

調査位置 栃木県矢板市沢800

地点番号 No. 6 標高 BM-0.177 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日

孔内水位 GL-1.00 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験												
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の 打撃回数			(N 値)							
											10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50			
1	-0.38	0.20	0.20			表土		粘土質シルトからなり、腐植物を混入する													
	-1.33	1.15	0.95			ローム	黄茶灰	スコリア、固結シルト混入する	1.15	7	4	2	1								
	-1.58	1.40	0.25			礫混じりシルト質砂	黄 灰	礫径φ2~40mm程度の円礫点在する	1.45	30	10	10	10								
2	-2.43	2.25	0.85			粘土質シルト	暗 灰	腐植物混入する	2.15	3	0	1	2								
3								軽石混入	2.45	30	10	10	10								
4	-4.28	4.10	1.85			砂 礫	暗 灰	礫径φ2~100mm程度の円礫である	3.15	25	8	7	10								
								上部粘土混入する	3.45	30	10	10	10								
5								4.10~4.45m間粘土挟む	4.15	7	3	2	2								
								礫径φ2~120mm程度の円礫である	4.45	30	10	10	10								
6								シルト全体に含む	4.45	39	12	13	14								
								シルトの多い所と少い所あり	5.45	30	10	10	10								
7									6.15	60	10	20	30								
									6.43	28	10	10	8								
8									7.15	39	16	10	13								
									7.45	30	10	10	10								
9									8.15	60	18	25	17								
									8.42	27	10	10	7								
10									9.15	60	23	15	22								
									9.45	30	10	10	10								
11	-10.83	10.65	6.55			砂 礫	暗茶灰		10.15	28	9	9	10								
									10.45	30	10	10	10								
12								11.70~12.10m間粘土質シルト挟む	11.15	26	4	7	15								
								スコリア、軽石全体に混入する	11.45	30	10	10	10								
13									12.15	31	6	9	16								
									12.45	30	10	10	10								
14	-13.93	13.75	3.10			シルト	黒 灰		13.15	28	5	9	14								
									13.45	30	10	10	10								
15								軽石混入する	14.15	22	4	7	11								
								礫径φ2~50mm程度点在する	14.45	30	10	10	10								
16	-15.88	15.70	1.95			粘土質シルト	黒 灰		15.15	23	5	8	10								
									15.45	30	10	10	10								
17								礫径φ2~50mm程度全体に点在する	16.15	30	8	10	12								
								軽石混入	16.45	30	10	10	10								
18									17.15	34	8	12	14								
									17.45	30	10	10	10								
19								18.50~19.20m間転石所によっては粘土質シルトとなる所あり	18.15	44/30	9/10	15/10	20/10								
									19.00	60	60										
20	-20.63	20.45	4.75			砂質シルト	黒茶灰		19.02	2	2										
									20.15	18	5	6	7								
21									20.45	30	10	10	10								

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式

調査位置 栃木県矢板市沢800

地点番号 No. 8 標高 BM-0.547 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日

孔内水位 GL-1.20 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験						
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の 打撃回数			(N 値)	
									10	20	30	40	50		
1	-0.95	0.40	0.40			表土		腐植物混入する							
	-1.45	0.90	0.50			ローム	茶灰	スコリア、固結シルト混入する	1.15	1	1				
2	-2.55	2.00	1.10			粘土質シルト	茶黄灰	腐植物混入 スコリア、固結シルト混入する	1.45	30	30				
									2.15	14	4	5	5		
									2.45	30	10	10	10		
3									3.15	31	7	14	10		
	-4.15	3.60	1.60			砂礫	暗灰	礫径φ2~60mm程度の円礫である	3.45	30	10	10	10		
4								礫径φ2~80mm程度の円礫である	4.15	37	14	11	12		
								全体にシルト含む	4.45	30	10	10	10		
								礫分の多い所と少ない所あり	5.15	43	12	12	19		
								軽石含む	5.45	30	10	10	10		
									6.15	38	11	11	16		
									6.45	30	10	10	10		
									7.15	60	27	33			
									7.34	19	10	9			
									8.15	60	15	24	21		
									8.43	28	10	10	8		
9									9.15	10	2	3	5		
10	-10.30	9.75	6.15			砂礫	暗茶灰		9.45	30	10	10	10		
	-11.00	10.45	0.70			シルト	茶褐	スコリア混入	10.15	28	6	9	13		
11									10.45	30	10	10	10		
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式
 調査位置 栃木県矢板市沢800
 地点番号 No. 9 標高 BM-0.196 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日
 孔内水位 GL-1.00 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験											
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数			(N 値)						
											10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50		
1									1.15	0	0									
2	-1.85	1.65	1.65		2.00	盛土	茶黄灰	粘土質シルトを主体とし、ガレキを混入する	1.45	30	30									
	-2.10	1.90	0.25		1	ローム		スコリア、固結シルト混入する												
3	-3.00	2.80	0.90		2.87	粘土質シルト	暗灰	腐植物混入	3.15	13	2	4	7							
4								礫径φ2~100mm程度の円礫である	3.45	30	10	10	10							
5								2.80~3.30m間礫混じりシルト質砂挟む	4.15	26	7	9	10							
6								5.00m付近からシルト多く含みシルト混じり	4.45	30	10	10	10							
7								砂礫となる所あり	5.15	42	12	12	18							
8								礫分の多い所と少ない所あり	5.45	30	10	10	10							
9									6.15	19	3	7	9							
10									6.45	30	10	10	10							
11									7.15	60	30	30								
12	-11.75	11.55	8.75			砂礫	黄茶灰		7.34	19	10	9								
13	-12.65	12.45	0.90			砂質シルト	茶褐	固結状である	8.15	60	60									
14									8.21	6	6									
15									9.15	60	34	26								
16									9.33	18	10	8								
17									10.15	53	19	17	17							
18									10.45	30	10	10	10							
19									11.15	32	13	10	9							
20									11.45	30	10	10	10							
21									12.15	38	8	12	18							
									12.45	30	10	10	10							

(F) 2016.10.27

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式

調査位置 栃木県矢板市沢800

地点番号 No. 10 標高 BM-0.157 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日

孔内水位 GL-0.50 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験								
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数			(N 値)			
									10	20	30	40	50				
1	-0.41	0.25	0.25	表土		表土		粘土質シルトからなり、腐植物を混入する									
	-1.36	1.20	0.95	ローム	1.20	茶灰		スコリア、固結シルト混入する									
2	-2.01	1.85	0.65	粘土質シルト	1.85	暗黄灰		腐植物混入するスコリア混入	2.15	23	6	10	7				
3				砂礫		暗茶灰		礫径φ2~70mm程度の円礫であるシルト含む	2.45	30	10	10	10				
4	-3.86	3.70	1.85	砂礫		暗茶灰		礫径φ2~70mm程度の円礫であるシルト全体に混入する	3.15	18	5	7	6				
	-4.26	4.10	0.40	砂		暗茶灰		礫径φ2~70mm程度の円礫である	3.45	30	10	10	10				
5	-4.86	4.70	0.60	礫混じりシルト質砂		暗茶灰		礫径φ2~20mm程度の円礫点状存在する	4.15	4	1	1	2				
				砂礫		暗茶灰		礫径φ2~80mm程度の円礫であるシルト全体に含む礫分の多い所と少ない所あり	4.45	30	10	10	10				
6				砂礫		暗茶灰		固結状であるスコリア混入	5.15	46	14	12	20				
				砂礫		暗茶灰			5.45	30	10	10	10				
7				砂礫		暗茶灰			6.15	38	12	15	11				
				砂礫		暗茶灰			6.45	30	10	10	10				
8				砂礫		暗茶灰			7.15	47	16	17	14				
				砂礫		暗茶灰			7.45	30	10	10	10				
9	-9.56	9.40	4.70	砂礫		暗茶灰			8.15	60	20	28	12				
				砂礫		暗茶灰			8.38	23	10	10	3				
10	-10.61	10.45	1.05	砂質シルト		黒灰			9.15	13	4	5	4				
									9.45	30	10	10	10				
11									10.15	21	4	7	10				
									10.45	30	10	10	10				
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 コータリー 式

調査位置 栃木県矢板市沢800

地点番号 No. 1 標高 BM+0.014 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日

孔内水位 GL-0.80 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験											
									深度 (m)	N 値 回	10 cm 毎の 打撃回数			(N 値)						
											10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50		
1	-0.69	0.70	0.70			盛土		粘土質シルトを主体とし、玉石を点在する	1.15	4	2	1	1							
2	-1.74	1.75	1.05			ローム	茶黄灰	スコリア、固結シルト混入する 砂多く含む所あり	1.45	30	12	8	10							
3								腐植物混入 所によっては砂を多く含む砂質シルトとな	2.15	2	1	1								
4	-3.74	3.75	2.00			粘土質シルト	青灰		2.53	38	21	17								
5								礫径φ2~50mm程度の円礫である 所によっては中砂とシルト若干混入する	3.15	2	1	1								
6	-6.19	6.20	2.45			砂礫	暗灰		3.48	33	18	15								
7	-6.99	7.00	0.80			砂礫	青灰	礫径φ2~60mm程度の円礫である シルト若干混入する	4.15	18	4	5	9							
8								礫径φ2~50mm程度の円礫である シルト若干全体に混入する	4.45	30	10	10	10							
9									5.15	38	11	13	14							
10									5.45	30	10	10	10							
11									6.15	60	16	22	22							
12	-11.99	12.00	5.00			砂礫	暗茶灰	礫径φ2~60mm程度の円礫である シルト若干混入する	6.44	29	10	10	9							
13	-13.09	13.10	1.10			砂質シルト	暗茶灰	礫径φ2~50mm程度の円礫である シルト若干全体に混入する	7.15	60	13	17	30							
14	-13.74	13.75	0.65			粘土質シルト	暗茶灰		7.45	30	10	10	10							
15	-15.44	15.45	1.70			砂質シルト	灰	固結状である 13.00m付近黒色帯びる	8.15	50	17	15	18							
16									8.45	30	10	10	10							
17									9.15	60	20	20	20							
18									9.43	28	10	10	8							
19									10.15	60	21	19	20							
20									10.42	27	10	10	7							
21									11.15	16	6	4	6							

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式

調査位置 栃木県矢板市沢800

地点番号 No. 2 標高 BM-0.262 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日

孔内水位 GL-0.85 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験							
									深 度 (m)	N 値 回	10cm毎の 打撃回数			(N 値)		
											10	20	30	40	50	
											10	20	30	40	50	
											cm	cm	cm			
1	-0.66	0.40	0.40			表 土		粘土質シルトからなり、腐植物(草の根)を混入する								
	-1.51	1.25	0.85			ロ ム	茶黄灰	スコリア、固結シルト混入する	1.15	1	1					
2								砂多く含む所あり	1.55	40	40					
						粘土質シルト	暗 灰	腐植物不規則に混入する	2.15	1	0	1				
3	-3.01	2.75	1.50						2.47	32	10	22				
						シルト質粘土	暗 灰	スコリア、固結シルト混入	3.15	2	1	1				
4	-3.81	3.55	0.80					砂多量混入する	3.45	30	17	13				
						砂 礫	暗 灰	腐植物混入	4.15	26	7	10	9			
5	-5.26	5.00	1.45					礫径φ2~50mm程度の円礫である	4.45	30	10	10	10			
						シルト	暗 灰	シルト若干混入する	5.15	12	4	4	4			
6	-5.71	5.45	0.45					砂若干含む	5.45	30	10	10	10			
								礫径φ2~60mm程度の円礫である	6.15	40	11	14	15			
7								シルト若干全体に混入する	6.45	30	10	10	10			
8								礫分の多い所と少ない所あり	7.15	60	32	20	8			
									7.39	24	10	10	4			
9									8.15	60	60					
									8.20	5	5					
10									9.15	60	60					
									9.25	10	10					
11									10.15	54	16	16	22			
									10.45	30	10	10	10			
12	-11.76	11.50	6.05			砂 礫	暗茶灰	固結状である	11.15	46	15	14	17			
						砂質シルト	暗茶灰		11.45	30	10	10	10			
13	-12.26	12.00	0.50			粘土質シルト	黒 灰	スコリア、固結シルト混入する	12.15	45	10	15	20			
									12.45	30	10	10	10			
14	-12.71	12.45	0.45													
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式
 調査位置 栃木県矢板市沢800
 地点番号 No. 3 標高 BM-0.212 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日
 孔内水位 GL-1.20 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験														
									深 度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数			(N 値)									
											10	20	30	10	20	30	40	50					
1	-1.11	0.90	0.90			盛 土		粘土質シルト (表土) を主体とする															
	-1.76	1.55	0.65			ロ ム	茶黄灰	スコリア、固結シルト混入する。砂多く含む所あり	1.15	5	1	2	2										
2								腐植物全体に混入する	1.48	33	10	13	10										
3								砂質シルト、シルト質粘土となる所あり	2.15	1	0	1											
4	-4.46	4.25	2.70			粘土質シルト	暗 灰		2.60	45	15	30											
5								礫径φ2~100mm程度の円礫である	3.15	2	0	1	1										
6								6.00m付近からシルト若干混入する	3.48	33	10	13	10										
7								7.10~7.30m間礫混じり中砂挟む	4.15	22	1	8	13										
8								礫分の多い所と少ない所あり	4.45	30	10	10	10										
9	-9.71	9.50	5.25			砂 礫	暗 灰		5.15	16	8	5	3										
10								礫径φ2~70mm程度の円礫である	5.45	30	10	10	10										
11	-10.91	10.70	1.20			砂 礫	暗 茶 灰	シルト若干混入する	6.15	37	10	12	15										
12	-11.66	11.45	0.75			砂質シルト	暗 茶 灰	固結状であるスコリア混入	6.45	30	10	10	10										
13									7.15	26	4	9	13										
14									7.45	30	10	10	10										
15									8.15	60	60												
16									8.20	5	5												
17									9.15	46	15	15	16										
18									9.45	30	10	10	10										
19									10.15	55	18	19	18										
20									10.45	30	10	10	10										
21									11.15	40	9	13	18										
									11.45	30	10	10	10										

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式

調査位置 栃木県矢板市沢800

地点番号 No. 4 標高 BM-0.284 m 調査年月日 2年 月 日 ~ 月 日

孔内水位 GL-0.75 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験										
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の 打撃回数			(N 値)					
											10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50	
1	-0.58	0.30	0.30	盛土		盛土		砂質シルトを主体とし、腐植物を混入する											
	-0.98	0.70	0.40						表土	腐植物混入する									
2	-2.08	1.80	1.10	ローム		茶黄灰		スコリア、固結シルト混入する 砂多く含む所あり	1.15	3	1	1	1						
									1.45	30	12	10	8						
3	-4.18	3.90	2.10	粘土質シルト		暗灰		腐植物全体に混入する 砂質シルト、シルト質粘土となる所あり	2.15	2	0	1	1						
									2.55	40	5	20	15						
4	-5.03	4.75	0.85	砂礫		暗灰		礫径φ2~50mm程度の円礫である 全体に崩壊が激しい	3.15	0	0								
									3.45	30	30								
5	-5.53	5.25	0.50	砂質シルト		暗灰		礫径φ2~80mm程度の円礫である 礫分の多い所と少い所あり	4.15	15	3	5	7						
									4.45	30	10	10	10						
6	-11.98	11.70	6.45	砂礫		茶黄灰		固結状である	5.15	27	2	12	13						
									5.45	30	10	10	10						
7	-12.73	12.45	0.75	砂質シルト		茶褐		12.30mから粘土質シルトとなる	6.15	30	8	10	12						
									6.45	30	10	10	10						
8									7.15	57	18	19	20						
									7.45	30	10	10	10						
9									8.15	60	26	19	15						
									8.42	27	10	10	7						
10									9.15	57	18	19	20						
									9.45	30	10	10	10						
11									10.15	60	18	29	13						
									10.39	24	10	10	4						
12									11.15	30	10	10	10						
									11.45	30	10	10	10						
13									12.15	31	6	10	15						
									12.45	30	10	10	10						
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			

第 図 土質柱状図

備考

調査名 栃木県那須学園新築工事地盤調査 ボーリング方法 ロータリー 式
 調査位置 栃木県矢板市沢800
 地点番号 No. 5 標高 BM+0.087 m 調査年月日 2年 月 日~ 月 日
 孔内水位 GL-0.75 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験										
									深度 (m)	N値回	10cm毎の打撃回数			(N値)					
											10cm	20cm	30cm	10	20	30	40	50	
1	-0.41	0.50	0.50			表土		腐植物混入する 0.50~0.80m間茶灰色を呈す スコリア、固結シルト混入する	1.15	1	1								
2	-1.91	2.00	1.50			ローム	黄茶灰	混入する 礫径φ2~80mm程度の円礫である 上部礫分少なく礫混じり細砂となる所あり 全体にシルト含む 礫分の多い所と少ない所あり 軽石含む	1.55	40	40								
3									2.15	10	3	4	3						
4									2.45	30	10	10	10						
5									3.15	20	6	6	8						
6									3.45	30	10	10	10						
7									4.15	37	8	13	16						
8									4.45	30	10	10	10						
9	-8.91	9.00	7.00			砂礫	茶灰		5.15	29	12	10	7						
10	-9.61	9.70	0.70			シルト	茶灰	スコリア混入	5.45	30	10	10	10						
11	-10.36	10.45	0.75			シルト	暗茶褐	スコリア混入	6.15	60	15	35	10						
12									6.37	22	10	10	2						
13									7.15	22	8	6	8						
14									7.45	30	10	10	10						
15									8.15	58	16	22	20						
16									8.45	30	10	10	10						
17									9.15	12	4	3	5						
18									9.45	30	10	10	10						
19									10.15	16	5	5	6						
20									10.45	30	10	10	10						
21																			